

和

第38号 (平成27年 秋号)



10月23日 ボランティア活動
心魂(こころだま)プロジェクトによる
デリバリーパフォーマンス

編集：大阪市立総合医療センター 地域医療推進委員会
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22
<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>

大阪市立総合医療センター

3Hの理念

Heart For Public Service

広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。

Humane

人間味あふれる暖かな医療を実践する病院をめざす。

High-technology

高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

～掲載内容～

○チーム医療の活動紹介

「NST (栄養サポートチーム)」

○「ロボット手術外来」について

○当センターが取り扱うがんの種類

○健康豆知識「体に「よい油」がある!？」

○市民医学講座等のご案内

■ チーム医療の活動紹介『NST (栄養サポートチーム)』

～栄養状態を良くして病気を治す～

みなさんは自分の栄養状態を気にしたことがありますか？

入院すると病気そのものや治療の影響で食欲が落ちて食べられなくなることがあります。また、食べることができても栄養が吸収されないような病気や下痢、けが、手術での大量出血によって必要なエネルギーが増え、適切な栄養管理を行わないと結果的に低栄養になることがあります。

当院ではすべての入院患者さんに対して栄養管理を行っていますが、その中でも低栄養や今後低栄養になる可能性のある患者さんの栄養療法(栄養状態を維持または改善する治療)に多くの職種で構成された栄養サポートチーム(Nutrition Support Team=NST)が、関わっています。

栄養サポートチームでは食欲不振の対応、点滴の内容の相談、栄養剤のトラブル等についての相談を受けています。食べられない原因は「食欲がない」「味がわからない」「飲み込みにくい」などさまざまですが、患者さん本人やご家族とお話し、どんなものなら食べやすいか相談しながら、冷たい麺やお茶漬け、スープなど食欲がない時でも食べやすいものを用意したお食事「一品メニュー」を紹介したり、アイスクリームやゼリー、ジュースなどの栄養補助食品の中から、食べやすそうなものを提供しています。このように患者さん



の栄養状態を評価し、一人ひとりの患者さんに必要な栄養量(エネルギー・たんぱく質など)と投与法(経口・経管・経静脈)について多職種で話し合い、栄養状態を良くすることで治療の効果を上げたり、合併症を防ぎ早期に退院していただけることを目標に取り組んでいます。

栄養サポートチーム構成

医師：糖尿病内科1名、肝臓内科1名、
消化器外科2名、緩和医療科1名、
小児外科1名、リハビリ科1名、
看護師各病棟1名、管理栄養士8名、
薬剤師3名、言語聴覚士2名

一品メニュー (加-ライス)	一品メニュー (ラーメン)	一品メニュー (たこやき)	一品メニュー (果物盛合せ)	一品メニュー (スープ)
				朝
カレー (甘口)	しょうゆラーメン	たこやきとフライドポテト	季節の果物	昼
一品メニュー (冷しめん)	一品メニュー (パンセット)	一品メニュー (冷奴セット)	一品メニュー (お茶漬け)	夕

■ 「ロボット手術外来」について

大阪市立総合医療センター 泌尿器科副部長 石井啓一

◆最先端医療機器である手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」の導入

前立腺がんに対するロボット支援前立腺全摘除術が2015年4月に導入となりました。執刀する医師が患者さんに触れることなく遠隔操作で手術支援ロボット「ダヴィンチ」を操作して手術を行います。この術式は米国では10年以上前から開始され、現在では前立腺全摘除術の約90%がロボット支援によって行われているという実績があります。



外来風景

◆当院の専門外来 「ロボット手術外来」

2006年4月に腹腔鏡下の前立腺全摘除術が本邦で保険適用となり、当時から同手術を行ってきました。現在は前立腺がんに対する標準術式になっていますが、「ダヴィンチ」手術は、この術式にロボットの機能を組み合わせて発展させた進化版といえます。2012年4月よりロボット支援前立腺全摘除術が健康保険の適用となり患者さんに高額な負担はありません。外来では「手術が必要かどうか」からお話をおうかがいします。そして手術の詳細だけでなく、手術後の日常生活でのQOL（生活の質）について、また早期に社会復帰をしていただくために、専門ナースとともに個別の生活指導なども実施しています。さらに今後、腎がんに対する腎部分切除術、膀胱がんに対する膀胱摘除術、水腎症に対する腎盂形成術等も導入検討中です。



実際の手術風景(術野側、3D眼鏡使用)



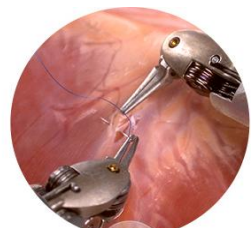
01

3Dハイビジョンカメラによる
鮮明な立体画像



02

7つの関節を持ち
自由に動く鉗子



03

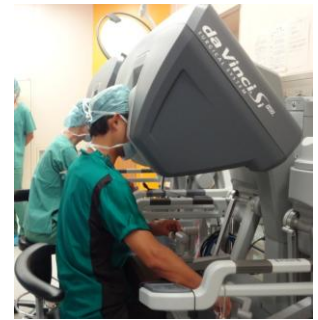
手振れ防止機能

◆優れた低侵襲性、QOL の維持

ロボット支援前立腺全摘除術では、患者さんの皮膚を切開する傷口は、鉗子を挿入する5~12mmの幅で、最大でも6カ所と小さな傷です。そのため、痛みが少なく、社会復帰がより早くなります。また手術中の出血量が非常に少なく、左ページ図の特性から鉗子の操作性が格段によく、細密な動きでがんの取り残しが少ない上に、排尿機能や性機能などの機能温存が期待できます。



前立腺摘除術後創



実際の手術風景（操作側）

◆ダヴィンチ手術のために

執刀医師は手術のために必要な認定施設でのトレーニングを受け、試験に合格しています(Certificate保有)。また手術のためには、泌尿器科だけでなく、麻酔科、看護師スタッフ、そして臨床工学技士からなるダヴィンチチームが不可欠で、一致団結して強かに推進しています。

当科では今後さらに執刀医師を増やすべく、他の医師もトレーニングを積んでいく予定です。



Certificate 保有



ダヴィンチチーム

外来を受診される場合は紹介状が必要です。

地域医療連携室 TEL 06-6929-3643 (直通) で月曜日の「ロボット手術外来」、または、木曜日の一般初診外来の予約をお取りください。

		月	火	水	木	金
泌尿器科	午前				一般初診外来	
	午後	ロボット手術外来				

当センターが取り扱うがんの種類

肺がん・縦隔腫瘍／乳がん／胃がん／大腸がん／食道がん／肝がん／胆嚢がん・胆管がん／膵がん／前立腺がん／膀胱がん／腎がん／尿路がん／精巣がん／血液腫瘍（白血病、リンパ腫など）／子宮がん／卵巣がん／脳腫瘍／骨軟部腫瘍／頭頸部がん／小児がん／皮膚がん／原発不明がん／性腺外胚細胞腫瘍／眼腫瘍／口腔がん

がんのこと一人で悩まないで！相談してください。 がん相談支援センター（電話：06-6929-1221）



健康豆知識

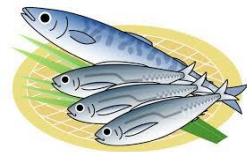


体に「よい油」がある！？

油といえば「ダイエットの敵で体に悪い」というイメージを持たれがちですが、実は人間が生きていく上で欠かせない重要な働きをしています。

特に積極的に摂りたいのは「オメガ3」という脂肪酸の豊富な油です。オメガ3は「必須脂肪酸」と呼ばれ、体内で作ることができないため、毎日の食事から摂取する必要があります。オメガ3に含まれる代表的な脂肪酸はαリノレン酸、DHA（ドコサヘキサエン酸）、EPA（エイコサペンタエン酸）です。主に亜麻仁油やえごま油、くるみ、青魚（サバ、イワシ、アジなど）に多く含まれます。オメガ3にはアレルギー・炎症・血栓の抑制、血管拡張などの作用があり、細胞や脳だけでなく、心臓や血管、皮膚などにも良い効果が期待できます。より健康な生活を送るためにも、毎日の食事から摂っている「油」を見直してみましょう。なお、最近話題の“ココナッツオイル”に多く含まれる飽和脂肪酸は体内で作ることができるため、あえて食事から摂る必要はありません。但し、どのような油も高エネルギーで、摂り過ぎは肥満の原因になりますので注意してください。

オメガ3脂肪酸を含む食品



サバ、アジ、イワシ
サンマなどの青魚



くるみ



亜麻仁油、えごま油、シソ油など

酸化しやすいため加熱調理には向きません。
ドレッシングに使用するとよいでしょう。

市民医学講座

大阪市立総合医療センター



知っ得！ なっ得！ 医学情報

手と足と背骨のスペシャリスト

日時▶平成27年12月12日（土）14:00~16:00

場所▶大阪市立総合医療センター さくらホール

参加費・事前申込み/不要 手話通訳あり 定員250名

- | | | |
|---|--------------------|------------|
| 1 | 手の痛みとしびれ | 整形外科 日高 典昭 |
| 2 | ロコモティブシンドロームとロコモ体操 | 整形外科 山崎 真哉 |
| 3 | 「骨粗しょう症」ってどんな病気？ | 整形外科 多田 昌弘 |
| 4 | 中高年の膝の痛み | 整形外科 松井 嘉男 |
| 5 | 「腰曲がり」は治る！ | 整形外科 松村 昭 |

平成 28 年 3 月 12 日（土）

14：00～16：00

市民医学講座「テレビに負けない家庭の医学」

詳細は決まり次第チラシ、ポスター、ホームページなどでお知らせいたしますのでご期待ください。ただし、都合により日程などを変更する場合があります。